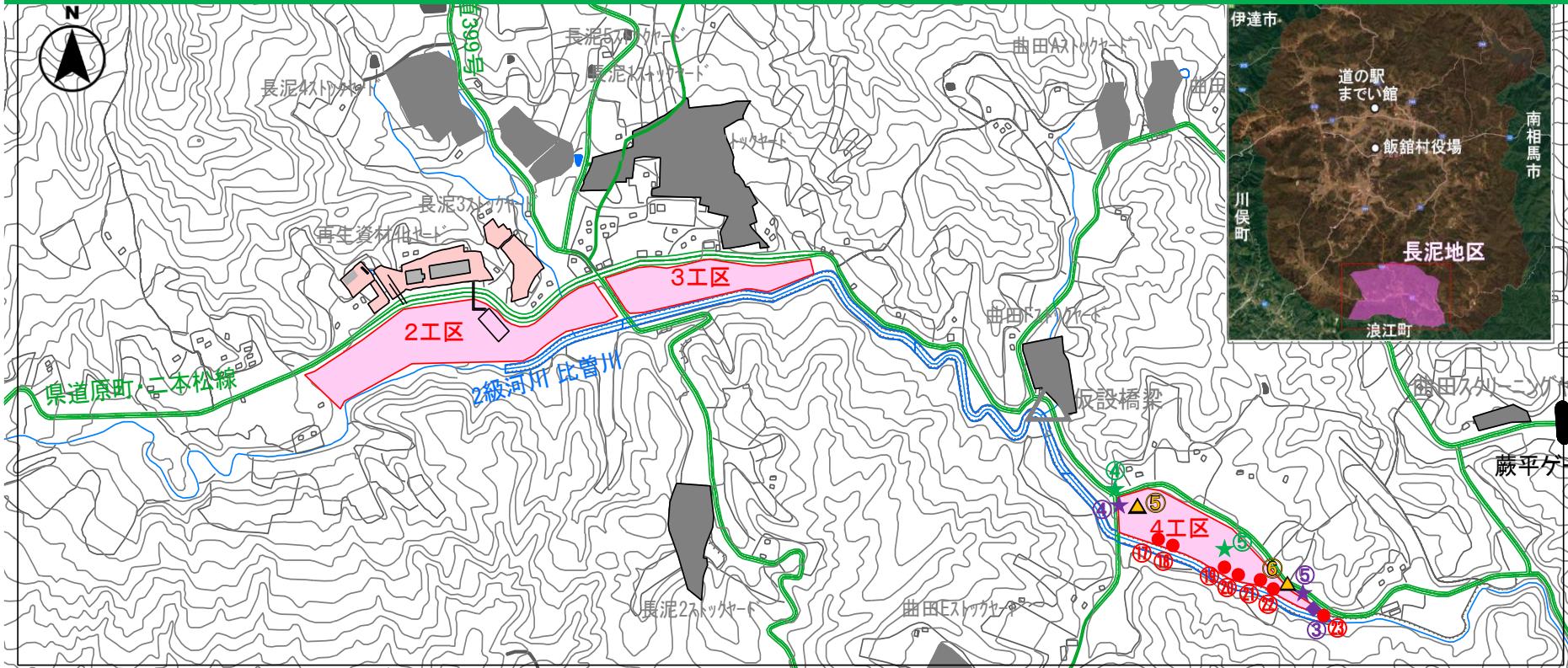


# 盛土造成箇所における周辺環境測定地点(月報)



## 【凡例】

- : 湧水処理集水枠からの放流水中の放射能濃度、濁度 ◆ : 放流先河川の放射能濃度、環境基準項目(32項目)
- ★ : 空気中の放射能濃度 ★ : 空間線量率(工事用地境界)
- ▲ : 地下水監視孔(井戸)中の放射能濃度等

# 盛土造成箇所における周辺環境測定結果(4工区報告)

○4工区は盛土施工後であり、理解醸成のために3回／年(4・6・10月)測定を行う。

●:湧水処理集水池からの放流水中の放射能濃度、濁度 ※1、※2、※3、※4、※5

測定日 測定地點 測定項目	⑯ 4 - 1 工区 4-1-1		⑰ 4 - 1 工区 4-1-2		⑲ 4 - 2 工区 4-2-1		⑳ 4 - 2 工区 4-2-2		㉑ 4 - 3 工区 4-3-1		㉒ 4 - 3 工区 4-3-2		㉓ 4 - 4 工区 4-4	
	放射能 濃度 (Bq/L)	濁度 (度)												
2025/4/9	ND	3.1	ND	39.6	ND	3.5	ND	4.4	ND	3.4	ND	1.4	ND	2.8
2025/6/3	ND	8.4	ND	590	ND	38.5	ND	6.7	ND	1.1	ND	1.0	ND	1.4
2025/10/6	ND	1.0	ND	253	ND	14.6	ND	19.7	ND	15.5	ND	1.1	ND	5.1

※1 NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

※2 放射能濃度検出下限値:1Bq/L

※3 濁度定量下限値:0.1度 定量下限値未満は<0.1と表記

※4 濁度の自主管理値:70mg/L以下(ホルマジン重量換算)  
自主管理値を超えた際については赤褐色の沈殿物があり、  
鉄バクテリアが生成した水酸化第二鉄と推察される。

※5 「-」放流実績が無かったことを示す。

▲:地下水監視孔(井戸)中の放射能濃度等 ほ場盛土造成 ※5、※6、※7

測定地点	測定項目 測定日	放射能濃度		電気伝導率		塩化物イオン濃度	
		(Bq/L)	(mS/m)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
⑤ 4 工区 (上流)	2025/4/10	ND		13		4.6	
	2025/6/4	ND		14		5.1	
	2025/10/2	ND		9.9		4.1	
⑥ 4 工区 (下流)	2025/4/10	ND		12		6.5	
	2025/6/4	ND		12		8.1	
	2025/10/2	ND		22		34	

★: 空間線量率(周辺環境)

測定日	測定地点 測定項目	測定地点④	測定地点⑤	空間線量率(μSv/h)
2025/4/21 (盛土後)		0.44	0.25	
2025/6/2 (盛土後)		0.44	0.24	
2025/10/6 (盛土後)		0.44	0.23	

★: 空気中の放射能濃度 ※8

測定地点	測定日	測定項目	放射能 濃度 (Bq/cm³)
④	2025/4/10	(盛土後)	ND
	2025/6/5	(盛土後)	ND
	2025/10/2	(盛土後)	ND
⑤	2025/4/10	(盛土後)	ND
	2025/6/5	(盛土後)	ND
	2025/10/2	(盛土後)	ND

※6 NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

※7 放射能濃度検出下限値:1Bq/L  
放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

※8 放射能濃度検出下限値[Bq/cm³]:セシウム134:1.0×10⁻⁷、セシウム137:1.0×10⁻⁷  
NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。  
放射能濃度[Bq/cm³]の基準：セシウム134の濃度/2×10⁻⁶+セシウム137の濃度/3×10⁻⁶≤1